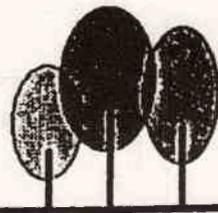


Net Work 通信



千葉市図書館情報ネットワーク協議会

10周年記念特別号

協議会発足10周年を迎えて

会長 浅岡 清明



平成6年1月12日、それに先立つ数度の準備的な会合を経て、千葉市図書館情報ネットワーク協議会の設立総会が、千葉センシティタワーの1室において開催されて以来、このほどめでたく10周年記念を迎えることとなりました。誠にご同慶の至りに存じます。

本協議会に限らず、ひとつの組織・団体が、10年間にもわたって意義ある活動を続け、発展していくことは、設立に関わられた方がたは申すまでもなく、関係者すべての並々ならぬ情熱と努力なくして到底実現できるものではありません。

本協議会の10年間にわたる活動の足跡は、後掲の「千葉市図書館情報ネットワーク協議会10年の歩み」をご参照いただきたいと存じますが、以下にいくつかの画期的と思われる事柄をとりあげて、この10年を顧み、次なる10年への期待を述べさせていただきます。

まず、本協議会設立までの経過については、「平成5年度中 数度の準備的な会合」とのみ触れているだけで詳細は不明ですが、幸いにも今回、当時本協議会設立に直接関係された、河村潤子、竹内紀吉、藤井武彦の各氏から、それぞれ玉稿を賜り、当時を理解するうえで、誠に貴重な資料を得させていただきました。とりわけ、千葉市において、当時、政令指定都市への移行に際し、それにふさわしい中央図書館を建設する計画が具体化されつつあり、そのことが本協議会設立の強い動機とも背景ともなったことを、これらの玉稿が明らかにされたことは、今後の本協議会の進むべき道について、深い示唆を与えるものであります。

次に、本協議会設立後最初の3年間は、連絡会、総会等を重ねて協議会活動の基礎固めを、また、平成9年度にはこれに加えて加盟機関所蔵資料展及び記念講演会を開催し中央図書館建設の推進援護を、同10年度には、年4回の理事会、年1回の総会、年3回の研修会、年2回の機関紙の発行等と、現在とほぼ同様の活動体制を整えました。同13年度には、4月に待望の千葉市中央図書館開館が実現し、これを記念して11月には、直木賞作家のねじめ正一氏をお招きして記念公開講演会及び本協議会蔵書展を開催し、以後、千葉市中央図書館の強力なサポートをいただいで、本協議会の活動を続けております。

平成14年度及び同15年度には、これまでの活動成果及び現下の各種図書館をめぐる社会の情勢を踏まえて、「図書館サービスの改善と評価」をテーマに研修会を重ねてきました。いずれ近い将来に、館種を超えた図書館におけるサービスのあるべき姿・協力体制について、本協議会初代会長の竹内先生がつとに主張されておられる物流手段の確保の問題を含め、画期的な構想が、この千葉市において編み出されることを心から期待するものです。

発足 10 周年に寄せて

新たに生まれた力によって

文部科学省科学技術・学術政策局政策課

課長 河村 潤子

(当時千葉市教育委員会社会教育部参事)

それは、平成4年のある暑い日、千葉市の教育総務部長室で始まった。

部長に呼ばれて行ってみると、敬愛大学の藤井さんが居られる。千葉市内の大学の図書館と市立図書館とがネットワークを作れるとよいのだけれど、というお話だった。即座に協議開始を決めた。実際には、当時社会教育部で中央図書館の構想づくりに携わっていた同僚の皆さんが、多忙な中、藤井さんたちに発破をかけられつつ連絡役や会合の準備に当たってくれた。

その年の暮れ、放送大学の会議室に、館種の違いを越えて、図書と情報にかかわる仕事をしている人々が集まった。そのとき、確かに実感できたのは、それぞれに分かれて共通の仕事をしている人々が顔を合わせることで新たな力が生まれること、千葉市の業務を進めるには、関連の機関、協力していただける市民の方々と共に仕組みを構築することが大切だということであった。

この複合的な力こそが、事業展開の源と思う。参加されているすべての皆さんに、敬意を捧げたい。

協議会発足の頃

千葉経済大学短期大学部教授 竹内 紀吉

(元千葉市図書館情報ネットワーク協議会会長)

当協議会が創立10周年を迎えるそうで、記念号に原稿依頼を受けた。丁度よい機会なので、協議会発足当時のことを一、二、記すことにしたい。

千葉市が政令指定都市に移行するにあたって、それに相応しい中央図書館の建設計画が具体化してきたおり、市内の大学図書館関係者の間から、市立図書館を核にして我々の間にネットワークを整備することができないか、そういう機運を通じて中央図書館を支援したらどうかの声が生まれてきた。敬愛大学図書館で図書課長をしていた藤井武彦氏(現千葉敬愛高等学校事務長)が、千葉市教育長と親しかった関係でこの話はすぐに具体化されることになり、浦安図書館から転職して間もない私の元へ、当時文部省から出向していた河村潤子参事が訪ねてこられ、会長就任を熱心にすすめてくださった。

館種を超えたネットワークを確立するためには、物流手段の確保、つまり図書館協力車を中央図書館が運行すべきだとの考えは、会長就任当初からの私の主張だったが、いまだに実現をみていないようで残念だ。ともあれ10年を振り返ると、この協議会の生みの親は、やはり敬愛大学の藤井さんだったとの思いを深めている。

市民のためのネットワーク

千葉敬愛高等学校事務長

藤井 武彦

(元敬愛大学メディアセンター課長)

10周年を迎え、ここまで育ててくれた関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

平成4年12月、千葉市の庄司総務部長(後の千葉市教育長)及び河村参事(現文部科学省科学技術・学術政策局政策課長)、千葉経済短大の竹内教授の三人が核となり、教育委員会内部と市内図書館関係者を集め、第1回の設立準備会に当たる交流会が放送大学で行われました。担当の社会教育課職員の皆様には、お忙しい中ご迷惑をかけました。

私は設立に参加したに過ぎませんが、最初から現在まで継続して参加されている、東京歯科大の新井さん、神田外語大の丹羽さん、千葉経済大の古賀さん、明德短大の吉野さん、川鉄(現JFEスチール(株))の深津さん等の皆様の力強い意志によって支えられ、今日まで発展してきました。「市内の本や資料は市民のもの、貸せるものは貸してあげようよ」という考え方で千葉市の蔵書冊数は飛躍的に伸びました。全国の先駆けとして、NHKテレビでも取り上げられ、全国各地で同じような動きが出てきました。今後の方向として、小・中・高校図書館との連携、市内の図書館情報の提供等、さらに幅広く市民の皆様に活用していただければいいなと夢見ています。

協議会発足 10 周年に寄せて

千葉県教育委員会生涯学習部長 植 草 勝 久

千葉市図書館情報ネットワーク協議会が結成 10 周年をお迎えになったとのこと、教育委員会といたしまして、心よりお祝いを申し上げます。

近年の厳しい経済情勢、あるいは行政改革の潮流は、様々な分野に少なからず変化をもたらしております。図書館界におきましても、なかなか厳しい状況であると伺っております。このような状況においてこそ、千葉市内の様々な図書館が館種を超えた相互協力を通じて図書館サービスの向上を図ろうという、本協議会の活動が重要になるものと考えます。今後ともこの活動を発展させていただきますようお願い申し上げます。

また、今年度本市は他の政令市に先駆けて「千葉市子ども読書活動推進計画ーおはなし・読書 ちばプランー」策定いたしました。将来の日本を背負う幼い子どもたちが読書に親しみ、健全な成長を遂げるために、その環境を整えることが重要です。そのために、今後とも本協議会のご支援をいただくと共に、相互の絆を一層強めていくことをお願い申し上げます。

ネットワーク通信「心のかげはし」から

幸町公民館長 齋 藤 正 夫
(元図書館開設準備室長)

平成 11 年 4 月。協議会発足当時の、華々しい千葉日報 1 面報道記事（平成 6 年 1 月 13 日付）を見せられて当惑。ネットワーク協議会の命題は何か。考えさせられたことを思い出します。

その頃、各加盟館の取組みには温度差があり、また退会される機関もあって、やや動揺した時期でもありました。しかし、会長さんをはじめとする理事の皆様の熱意に支えられ、アジア経済研究所図書館や植草学園短期大学図書館の新規加盟やアジア経済研究所オープン直後の見学会がよい刺激となり、協議会の鮮度を若干高めた事業の展開ができました。

なかでも、著者を囲む講演会、その後の会費制の懇親会では、現場の苦労話に花が咲き、場内狭しと笑顔に包まれ、学際的な臨場感のある集いとなりました。この場をお借りして改めて、準備に奔走していただいた放送大学附属図書館関係者に感謝申し上げます。理事会などに出席されない会員の方にも、デジカメ写真入りの『Net Work 通信』が、チョピリ温かな「心のかげはし」を伝えたことでしょうか。

協議会発足 10 周年に寄せて

事務局長 狩 野 誠
(千葉市中央図書館長)

千葉市図書館ネットワーク協議会がいよいよ 10 年目を迎えたということで、事務局といたしましてこれまでのご協力ご支援に心より感謝いたします。特に、平成 13 年、ねじめ正一氏を招聘しての公開講演や、各館持ち寄りの蔵書展を実施したことは記憶に新しいところであり、最近では各館の事例報告を交えて、図書館サービスの改善をテーマとした研修を実施しているところです。

本協議会発展の歩みは、中央図書館の開設をはじめとする本市の図書館網充実の歩みでもあります。事務局として、これからも地に足の着いた活動になるよう努力してまいりますので、さらなるご支援をお願いするところでございます。

千葉市図書館情報ネットワーク協議会 10年の歩み

(※名称・所属等は実施当時のもの)

- 平成5年中 数度の準備的な会合
 平成6年 1月12日 設立総会（センシティータワー） 〈加盟館27館〉
- ***** 平成6年度 *******
 7月12日 連絡会（ポートサイドタワー）【相互協力のための現状調査】
 平成7年 3月29日 連絡会（ポートサイドタワー）【調査票の集計結果と配布】
- ***** 平成7年度 *******
 平成8年 3月7日 連絡会（ポートサイドタワー）【平成8年度事業計画】
 3月29日 総会（ちば共済会館）【役員館改選，会費決定】
- ***** 平成8年度 *******
 11月20日 連絡会（ポートサイドタワー）【相互協力の推進方策】
 平成9年 1月29日 連絡会（中央コミュニティ）【8年度総会について】
 2月5日 総会（千葉大けやき会館）【前年度事業報告，今年度事業計画】
 研修会（千葉大けやき会館）
 講師：前園主計氏（青山短期大学教授）
 テーマ：マルチメディア時代の著作権問題
 1月21日 加盟館運営状況調査
 3月24日 連絡会（放送大学附属図書館）【協議会細則について，9年度事業について】
- ***** 平成9年度 *******
 4月23日 連絡会（中央コミュニティ）【9年度事業計画について】
 5月26日 連絡会（千葉市美術館）【展示会の開催について】
 6月18日 全体会（千葉市美術館）【展示会の開催について】
 7月22日 連絡会（ポートサイドタワー）【機関紙発行について，展示会の打ち合わせ】
 9月2日 連絡会（ポートサイドタワー）
 【展示会の開催準備について，機関紙発行について，研修会について】
 9月26日 連絡会（千葉市美術館）【展示会の開催について一日程・動員等準備状況】
 10月15日～10月19日 加盟機関所蔵資料展（千葉市美術館）
 「西洋の日本観」フロイスからシーボルトまでを中心に
 10月15日 記念講演（千葉市美術館）
 講師：竹内紀吉氏（千葉経済大学総合図書館長）
 テーマ：「変わりゆく図書館」
 12月12日 連絡会（ポートサイドタワー）【会則の改正，役員改選，総会日程について】
 平成10年 1月9日 連絡会（センシティータワー）【総会，講演会日程，機関紙の発行について】
 2月4日 総会（センシティータワー）
 【前年度事業報告，規則改正，調査票集計報告，機関紙の発行】
 2月4日 講演会（センシティータワー）
 講師：長田 薫氏（浦安市立図書館，日本図書館協会資料保存委員会委員長）
 テーマ：「利用のための資料保存」を考える
 3月17日 連絡会（ポートサイドタワー）【役員改選，広報実行委員会委員選出について】
- ***** 平成10年度 *******
 4月17日 理事会（ポートサイドタワー）
 【前年度会計報告，今年度予算案・事業計画，広報担当館選出について】
 5月21日 総会（シャープ(株)技術本部技術情報センター）
 【役員選任，前年度決算，今年度事業計画・予算・会費，加盟館，機関紙の

- 発行について】
- 5月21日 第1回研修会（シャープ㈱技術本部技術情報センター）
講 師：井上 学 氏（日図協映像事業部長）
テーマ：『わが国における著作物再販制度「見直し」論議の動向
—「書籍」「雑誌」—』
- 7月7日 理事会（ポートサイドタワー）【事業計画，加盟館調査票，機関紙の校正等】
10月16日 理事会（中央コミュニティ）【施設見学，研修会についての提案，調査票の校正，
加盟館蔵書目録について冊子体目録の交換，機関紙について】
- 11月20日 機関紙発行（NetWork 通信 No.1）
11月25日 第2回研修会（視察）
場所：新日本製鐵㈱総合技術センター「T I C」と「新図書館情報システム
《情報源あさり君》」
- 平成11年
- 1月14日 理事会（中央コミュニティセンター）【機関紙について，調査票について】
1月22日 第3回研修会（講演，視察）
講 師：常世田 良 氏（浦安市立中央図書館長）
テーマ：「県内の図書館ネットワークの現状について」
会場・視察：浦安市立中央図書館
- 3月9日 理事会（センシティータワー）【今年度事業報告，次年度事業計画，機関紙，加
盟館調査について】
- 3月9日 機関紙発行（NetWork 通信 No.2）

***** 平 成 1 1 年 度 *****

- 4月16日 理事会（センシティータワー）【役員補充について，前年度決算，今年度事業計
画，総会，機関紙，加盟館調査について】
- 5月21日 総会（放送大学附属図書館）【役員の補充，前年度決算，今年度事業計画，今年
度予算，会費，機関紙発行について】
- 5月21日 第1回研修会（公開講演会，施設見学）
講 師：佐藤洋二郎 氏（作家 野間文芸新人賞・芸術選奨文部大臣新人賞受賞）
テーマ：私の文学的精神磁場 —神社巡りと私の文学—
会場・施設見：放送大学附属図書館
- 5月21日 全体懇親会（ホテル スプリングス幕張）
- 6月7日 機関紙発行（NetWork 通信 No.3）
- 8月20日 機関紙発行（NetWork 通信 No.4）
- 10月15日 理事会（センシティータワー）【研修会，中央図書館をホストとしたインターネ
ットによる市内図書館ネットワークの構築，新規加入予定：ジェトロ・アジア
経済研究所図書館，植草学園短大図書館，機関紙発行について】
- 11月11日 機関紙発行（NetWork 通信 No.5）
- 11月18日 第2回研修会（講演，施設見学）
講 師：永田治樹 氏（図書館情報大学教授）
テーマ：図書館サービスのマーケティング
会場・施設見学：千葉大学附属図書館

平成12年

- 1月20日 第3回研修会（講演，施設見学）
講 師：松本脩作 氏（アジア経済研究所 主幹）
テーマ：アジアの図書館事情 —南アジアを中心に—
施設見学・会場：ジェトロ・アジア経済研究所図書館
- 2月29日 機関紙発行（NetWork 通信 No.6）
- 3月24日 理事会（センシティータワー）【新規加入について：アジア経済研究所図書館，
植草学園短期大学図書館，次年度役員，次年度計画，市内図書館ネットワ
ーク，加盟館調査，機関紙発行について】

***** 平 成 1 2 年 度 *****

- 4月21日 理事会（センシティータワー）【前年度決算，今年度計画・予算，新役員，研修
会の運営について】
- 5月12日 総会（緑区役所講堂）【新規加入館の承認，役員選任，前年度事業・決算報告，
今年度事業計画・予算，機関紙発行，加盟館調査，会費納入について】
- 5月12日 第1回研修会（施設見学，概要説明）

- 施設見学：緑図書館
概要説明：園原信一氏（緑図書館長）
- 6月6日 機関紙発行（NetWork 通信 No.7）
10月13日 理事会（センシティータワー）【第2回研修会，第3回研修会，千葉市中央図書館ホームページと加盟館のリンク，県立中央図書館の横断検索システム，機関紙発行，千葉市中央図書館の準備状況について】
- 11月20日 機関紙発行（NetWork 通信 No.8）
11月22日 第2回研修会（講演）
講師：尾下千秋氏（株図書館流通センター代表取締役）
テーマ：出版の行方と図書館
会場：中央コミュニティセンター

平成13年

- 2月20日 第3回研修会（施設見学）
施設見学：千葉市中央図書館，生涯学習センター
概要説明：中央図書館職員
- 2月20日 機関紙発行（NetWork 通信 No.9）
3月16日 理事会（センシティータワー）【新規加入館：生涯学習センター，今年度事業報告，次年度事業計画，次期役員について】

***** 平成13年度 *****

- 4月25日 理事会（センシティータワー）【入会：生涯学習センター，退会：IBM，前年度決算，今年度事業計画・予算，新役員，総会・研修会について】
☆竹内紀吉会長から浅岡清明新会長にバトンタッチ
- 5月11日 総会（生涯学習センター大研修室）【新規加盟館の承認，退会館報告，役員選任，前年度事業報告・会計報告，今年度事業計画・予算案，機関紙発行について】
- 5月11日 第1回研修会（講演）
講師：大場高志氏（千葉大学附属図書館情報サービス課長）
テーマ：著作権をめぐる課題と図書館
会場：生涯学習センター大研修室
- 7月25日 機関紙発行（NetWork 通信 No.10）
10月5日 理事会（センシティータワー）【中央図書館会館記念事業，研修会について】
10月19日 臨時総会（千葉市生涯学習センター大会議室）
【中央図書館会館記念事業，研修会について】
- 11月1日 機関紙発行（NetWork 通信号外 公開講演会・蔵書展のお知らせ）
11月23日～11月25日（生涯学習センター小会議室）
千葉市図書館情報ネットワーク協議会「蔵書展」
各加盟館の蔵書の中から，館を特徴づける資料や普段は公開されていないような資料を持ち寄り公開する。
- 11月25日 第2回研修会（公開講演会）
講師：ねじめ正一氏（直木賞作家）
テーマ：小説の周辺
会場：生涯学習センターホール（300人）

平成14年

- 1月5日 機関紙発行（NetWork 通信 No.11）
3月8日 第3回研修会（講演会）
講師：酒川玲子氏（元日本図書館協会事務局長）
テーマ：著作権と図書館
会場：中央コミュニティセンター会議室
- 3月20日 理事会（センシティータワー）【会費規定について，今年度事業報告，次年度事業計画，次期役員加盟館調査について】

***** 平成14年度 *****

- 4月24日 理事会（センシティータワー）【前年度事業報告・決算報告，今年度事業計画・予算案，新役員，総会，研修会について】
- 5月17日 総会（幕張ベイタウン・コアー打瀬公民館）【退会館について，役員について，前年度事業報告・会計報告，今年度事業計画・予算案，機関紙発行・加盟館自己紹介，加盟館調査，会費納入】
- 5月17日 第1回研修会（事例報告，施設見学）
事例報告：橋本眞治氏（ジェトロ・アジア経済研究所図書館長）
テーマ：図書館サービスの改善について

- 会 場：幕張ベイタウン・コアー打瀬公民館ホール
 施設見学：美浜図書館打瀬分館
 概要説明：照井 始 氏(美浜図書館長)，安西ひろ美 氏(美浜図書館打瀬分館)
- 7月1日 機関紙発行 (NetWork 通信 No.12)
 10月4日 理事会 (センシティータワー) 【研修会，会則の一部改正について】
 10月25日 機関紙発行 (NetWork 通信 No.13)
 11月15日 第2回研修会 (事例報告，施設見学)
 事例報告1：鈴木 忠 氏 (県立中央図書館資料課長)
 テーマ：県立図書館のインターネット系システムについて
 事例報告2：吉沢安嗣 氏 (市中央図書館管理課主査)
 テーマ：図書館サービスの改善を目指して
 会場・施設見学：ジェトロ・アジア経済研究所図書館
- 12月13日 第3回研修会 (講演，施設見学)
 講 師：糸賀雅児 氏 (慶応大学文学部教授)
 テーマ：図書館評価の新たな動向 ー行政評価と国内規格制定を受けてー
 会場・施設見学：O V T A
 施設概要説明：安藤栄治 氏 (O V T A企画情報部長)
- 平成15年
 1月31日 第4回研修会 (事例報告)
 事例報告1：荒木由紀子 氏 (淑徳大学附属図書館課長補佐)
 テーマ：図書館サービスの評価と改善・問題点
 事例報告2：澤田裕子 氏 (ジェトロ・アジア経済研究所図書館書誌参考課)
 テーマ：業務評価
 会場・施設見学：ジェトロ・アジア経済研究所図書館
- 2月1日 機関紙発行 (NetWork 通信 No.14)
 3月20日 理事会 (センシティータワー) 【今年度事業報告，次年度事業計画，会費規定の一部改正等について】

***** 平 成 1 5 年 度 *****

- 4月25日 理事会 (センシティータワー) 【前年度事業・決算報告，今年度事業計画・予算案，会費規定の改定，新役員，総会，研修会，機関紙について】
 5月16日 総会 (神田外語大学) 【役員について，会費規定の改定，前年度事業報告・会計報告，今年度事業計画・予算案，機関紙発行について，加盟館自己紹介，加盟館調査について，会費納入について】
 5月16日 第1回研修会 (施設見学)
 施設見学：神田外語大学附属図書館，6号館 (インテリジェント校舎)
- 6月30日 機関紙発行 (NetWork 通信 No.15)
 10月10日 理事会 (センシティータワー) 【研修会，10周年記念紙発行，退会：シャープ (株)技術本部情報技術センター】
 10月31日 第2回研修会 (講演，事例報告)
 講 師：永田治樹 氏 (筑波大教授)
 テーマ：利用者に聴く：図書館のマーケティング・リサーチ
 事例報告：古賀実生 氏 (千葉経済大学総合図書館)
 テーマ：図書館改善の状況
- 12月25日 機関紙発行 (NetWork 通信 No.16)
 平成16年
 1月30日 第3回研修会 (講演，事例報告，施設見学)
 講 師：尾城孝一 氏 (千葉大学附属図書館)
 テーマ：ネットワーク環境下における大学図書館機能の再構築
 事例報告：尾城孝一 氏 (千葉大学附属図書館)
 テーマ：千葉大学学術情報リポジトリ計画について
 会場・施設見学：千葉大学附属図書館
- 1月30日 理事会 (千葉大学附属図書館) 【新規加入館：独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター，Net Work 通信10周年記念特別号について】
 3月12日 機関紙発行 (NetWork 通信 10周年記念特別号)
 3月19日 理事会 (生涯学習センター) 【今年度事業報告，次年度事業計画，次期役員について】

研修の記録

研修活動を振り返って—今後の図書館サービス—

アジア経済研究所 橋本 眞 治

(前ジェトロ・図書館長, 前CLA副会長)

千葉市図書館情報ネットワーク協議会 (CLA) 創立10周年おめでとうございます。1994年1月12日、27館でスタートし現在29館、市内の主要な図書館はほぼ網羅しています。これは各加盟館のご協力とともに、その運営を支えてきた市中央図書館事務局各位のご努力の賜と深く敬意を表します。(CLA: Chiba-shi Libraries Association 勝手に命名した英文名称ですが、ご愛用いただければ幸いです。)

2002年5月からスタートした「図書館サービスの改善」に関する研修活動について振り返り、今後のあり方を考えてみたいと思います。

アジ研図書館がCLAに入会した2000年春から2002年までの研修会は、著作権や出版事情に関する研修でした。もちろん勉強になるのですが、同じような講座はほかでも開催されており、いまひとつインパクトのあるテーマはないかと考えておりました。

このようなとき、市ヶ谷から幕張へ移転後、利用者数の急減に直面したアジ研図書館にとっての中・長期的視野に立った「図書館サービスの改善」という課題は、CLA各館にとっても共通の重要課題ではないか、ということに思い至り、2002年4月の理事会へ提案したわけです。幸いにも理事会でご理解いただき、2002年5月の総会・研修会において、試行的に「アジ研図書館における図書館サービスの改善」についてご報告させていただきました。CLAをうまく利活用して自分の課題の解決策を探るといふ、いわば虫のいい提案でした。

その後、現在までの研修会のテーマを「図書館サービスの改善」とし、各館のサービス改善の事例報告とともに、図書館サービスや評価に関する糸賀雅児先生や永田治樹先生による講義を組み合わせることにより、理論的にも理解を深めることができ、現場においてもサービス意識の向上やサービス改善に役立っているのではないかと思います。これまでに6館が事例報告を行い、次年度以降も報告予定館が控えています。CLAにとってニーズの高い特定のテーマで掘り下げていくことにより、一層効果的な研修ができることと思います。

まだ手を挙げていただいていないメンバー館にも是非ご報告をお願いできればと思います。日常の忙しきやプレッシャーがあるかとは思いますが、報告するために、あらためて現状を把握し、課題を抽出し、対応策を考える良い機会となり、その作業自体が生きた研修となって、サービス向上につながるのではないのでしょうか。

これからの図書館は、いわば図書館界全体としての「総力戦」により、その社会的存在意義を高めることが必要であると思います。主な理由は二つあります。

第一に、低経済成長時代を背景に図書館予算は良くて横ばい、または減少傾向が続くこと。第二に、インターネット等を通じてますます情報が増大することにより、信頼できる情報へのニーズが高まることです。そこで求められるのは図書館のレファレンス能力と考えられます。なぜなら、信頼できる情報の選択・入手の水先案内人は図書館員だからです。また、これは図書館業務の安易な外部化への歯止めともなります。

限られた予算を図書館間で収集分担して特化し、それぞれの持ち分に関するレファレンス能力を深化させることが必要です。これは各図書館のレファレンス能力を高めるチャンスとも言えます。

もちろん窓口サービスの改善も重要ですが、今後の図書館サービスにおける究極の改善は、レファレンスサービスの高度化にあると言えるのではないのでしょうか。各館がその独自色を明確にするとともに、それを深めつつ、他館との協力関係を構築していくことが重要な課題であり、CLAの役割は今後ますます重要なものとなるでしょう。

* 研修・イベント ハイライト *

(※研究参加者のレポートは既刊の「Net Work 通信」より抜粋)

平成9年 加盟機関所蔵資料展《H9. 10. 15~10. 19 会場：千葉市美術館》,

○千葉市図書館情報ネットワーク協議会 加盟機関所蔵資料展

・主な展示資料

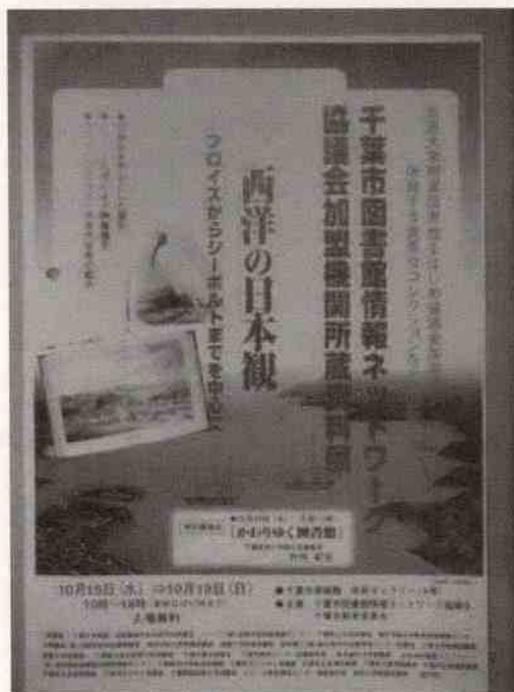
【図書】放送大学附属図書館：『『神の国』ジャンソン版』『『命題集』第3巻註解 初版』『『教会書目』初版』『『1579・80 イエズス会日本年報』初版』『『ザビエル伝』初版』『『日本誌 仏訳』初版』『『当方見聞録 マースデン編』『『日本滞在見聞記』初版』等全48点、放射線医学総合研究所：「原子爆弾ニ依ル広島戦災医学的報告」、川崎製鐵(株)技術研究所図書情報室：「ak」、神田外語大学附属図書館：「英字訓蒙図解」「英語熟語集」、敬愛大学図書館：「ジェボンズ『経済学理論』」「ワルラス『純粹経済学要論』」、淑徳大学：『『免罪符』1544 インゴルスタッド版』『ブース『暗黒のイギリスとその出口』初版』、千葉経済大学総合図書館「The Scots Magazine」「The Canterbury Tales」、千葉県立中央図書館「伊藤左千夫書簡」「西村泊翁先生書簡」、千葉市教育センター「千葉市教育史・史料編」、千葉市美術館：「来禽図彙」「光琳画譜」(入場者 約500名)

【AV機器による展示】敬愛大学図書館、東京情報大学教育研究情報センター、放送大学附属図書館、メディア教育開発センター情報資料室

【模型展示】(仮称)中央図書館開設準備室

【特別講演】竹内紀吉氏(千葉経済大学総合図書館長)

テーマ「かわりゆく図書館」



所蔵資料展 パンフレット

平成9年度 講演会《H10. 2. 4 会場：センシィータワー会議室》

○講師 長田 薫氏(浦安市立図書館、日本図書館協会資料保存委員会委員長)

テーマ 「利用のための資料保存」を考える

- ・ビデオ「利用のための資料保存」上映と解説
- ・パンフレット「利用のための資料保存」解説 他

平成10年度第1回研修会《H10. 5. 21 会場：シャープ(株)技術本部技術情報センター》35名

○講師 井上 学氏(日本図書館協会 映像事業部長)

テーマ 「わが国における著作物再販制度『見直し』論議の動向 書籍・雑誌について」

- ・独禁法と再販制度
- ・「中間報告」(1995年)以降の攻防
- ・公取委の「結論」
- ・出版界の対応

平成10年度第2回研修会《H10. 11. 25 会場：新日鉄》25名

○優良施設見学：新日本製鐵(株)総合技術センター「TIC」

「新図書館情報システム『情報源あさり君』」

平成10年度第3回研修会《H11. 1. 22 会場：浦安市立中央図書館》25名

○講師 常世田 良氏(浦安市立中央図書館長)

テーマ 「県内の公共図書館のネットワークの現状について」

○施設見学 浦安市立中央図書館

平成11年度第1回研修会《H11. 5. 21 会場：放送大学附属図書館》

○講師 佐藤洋二郎氏(作家)

1995年「夏至祭」で第17回野間文芸新人賞。1999年「岬の蜩」で第49回芸術選奨文部大臣新人賞受賞。

テーマ 「私の文学的精神磁場」

「放送大学見学記」

5月21日に開催された「総会並びに講演会」。会場はわが大学の真向かいにある放送大学でした。幕張新都心の一角に位置し付近には、海外職業訓練協会 OVTA 図書館、ジェトロ・アジア経済研究所図書館（今年12月オープン予定）がある。

放送大学附属図書館は、図書20万冊（その内洋書8万冊）雑誌700タイトルを所蔵し、インターネット上で検索可能。全国に学ぶ学生の図書館として十分に機能している。3層にわたる閲覧部門にカウンターは1階入口にのみあるが、各所に用意されている「図書館案内」の画面が利用を助けている。1階では参考図書、地図、マイクロ資料のほかこの大学を特徴づける放送教材をはじめとする映像音響資料の利用ができる。そして、情報検索室があり、OPACはもちろん新聞、百科事典、目録等のCD-ROMを自由に利用できる。2階には図書の開架書架と雑誌のバックナンバーをおさめた集密書架があり自由に利用できる。3階は雑誌コーナーと展示コーナー、グループ視聴室になっている。当日は普段見ることが出来ない貴重書も見せていただき充実した施設見学でした。また、放送局も見学出来、ちょうど夏に放映する学校司書の科目を撮り終えたばかりでした。

本学図書館の不十分な蔵書を補うように、衛生短大の学生が慣れた様子で利用させてもらっている姿。それを見て有り難く感じると同時に申し訳なく思いました。この紙面をおかりして御礼申し上げます。

最後になりましたがお忙しい中貴重な時間をさいて下さった放送大学の皆様本当にありがとうございました。又、事務局の方々お世話になりました。

【押尾紀子（県立衛生短期大学図書館）】

平成11年度第2回研修会《H11.11.18 会場：千葉大学附属図書館》

図書館サービスのマーケティング「第2回研修会に参加して」

今年度の第2回研修会は、千葉大学附属図書館との共同開催となり、本協議会の会員に加え、他の図書館関係者など多数の方々の参加を得て、11月18日（木）に同図書館にて開催されました。

講師は、図書館情報大学の永田治樹教授でした。氏は、大学図書館の勤務経験もあり、現在は、日本図書館協会の目録委員長でもあるとのこと。

今日の講演は、「図書館サービスのマーケティングについて」。このマーケティングなる概念は、一般的には企業の経済活動における行動原理としてとらえられるものですが、近年、図書館の行動原理としても要請されるようになってきているとのこと。確かに、予算・人員など図書館をめぐる厳しい環境の中で、利用者の満足を得るためには、図書館のサービスの何たるかを知り、これを利用者を受け入れてもらう努力が必要であろうと思います。

氏は、ここにおいて、人の価値行為たる“サービス”の本質を明らかにするとともに、従来の伝統的マーケティング・ミックス手法に加えて、サービス・マーケティングにおけるそれについて論じられ、“良いサービス”を提供するに至る過程について明らかにされました。

一概に図書館といっても館種・利用者それぞれであり、求められるサービスは多種多様ですが、要は、図書館員は利用者を把握し、サービスのギャップを埋め、サービスの品質を高める努力が必要ということかと思えます。

私たちは、日頃、図書館のサービスをこのように工学的にとらえ、考えながら行動している訳ではありませんが、時にはこうした時間も必要と考えさせられた研修会でした。

関係者の皆様ありがとうございました。

【古関伸幸（千葉市立東部図書館長）】

平成11年度第3回研修会《H12.1.20 会場：日本貿易振興会アジア経済研究所図書館》

「日本貿易振興会・アジア経済研究所図書館見学記」

1月20日（木）日本貿易振興会（ジェトロ）のアジア経済研究所図書館で、ネットワーク協議会の研修会（見学会）が行われた。

アジア経済研究所図書館は、発展途上国の経済、政治、社会を中心とする諸分野の学術的文献、基礎資料、新聞、雑誌、マイクロフィルム、地図、統計書、各国研究機関、国際機関の報告書など豊富な資料を所蔵しており、発展途上国研究者はもとより、開発援助問題に関わる人にとっては欠くことのできない専門図書館である。

同じ時間帯に地元の団体の見学が入っているとのこと、同じ美浜区に位置する公共図書館としては、うかうかしてられないぞと気持ちを引き締めた。

3班に分かれ館内の見学を開始した。私たちの班は、4階から1階へと移動しつつ、階ごとに説明をいただいた。特に、3

階では言語・分類番号順に配架をしているが、2階では、地域別に配架してあり利用しやすいよう考えられている。1



階には、インターネットでも読めない新聞を、航空便で多数取り寄せているとのことで、どれだけ予算がかかっているのだろうと、いらぬ心配をしてしまった。

複写サービスも充実していて、大きい地図でも複写できる機器も取り付けてある。これらのサービス利用資格は、「18歳以上」ということのみ（現在は年齢制限もなし）ということに驚きつつ、是非使わせてもらわなければと、思いも新たにした。

見学終了後は、松本氏による「アジアの図書館事情 南アジアを中心に」の講演を聞き、充実した資料を得るためには、最終的には個々の努力だなと痛感した。

コレクションの充実に加え、日本のどこにいても簡単にできる検索システム、レファレンスサービスの拡大、相互協力、閲覧時間の延長、閲覧環境の整備、複写サービスの料金の値下げ及び時間の延長を考えつつ、「もっともっと使ってもらおう努力をしていきたい。」という言葉が印象に残った。

最後にお忙しい中、貴重な時間を割いてくださったアジア経済研究所図書館の皆様、本当にありがとうございました。

【大塚恵美子（千葉市立高洲図書館）】

平成12年度第1回研修会《H12.5.12 会場：千葉市緑図書館》

4月オープン千葉市緑図書館。各区に1館ずつ地区館を整備する構想の下で、最後に建設されたものであり、魅力的な街のすばらしい図書館である。

鎌取コミュニティセンターとの複合施設で、図書館入口は2階である。図書館のドアを入ると、左手に貸出・返却カウンター、右側は新着図書展示棚となっている。見学当日この棚には、新緑の季節にふさわしいガーデニング・ハイキングなど、手に取ってみたい興味をそられる図書が展示してあった。

その先は、一般図書が配架されており、真新しい図書がずらっと並んでいる。書架間のスペースは十分にとられており、コーナーごとにテーブルと椅子が配置され、その場で選んだ図書が読めるようになっている。

児童図書コーナーは、子どもの背丈に合わせて書架も椅子も低く、子どもに楽しむ雰囲気を醸し出している。このコーナーには「おはなしのへや」があり、当日はお話会があったためか、4・5歳児が20人ほど館内を歩いており、とてもにぎやかであった。

1階はレファレンス室・集会室・読書室があり、千葉県郷土資料や年鑑・地図・事典など熱心に利用している姿が見られた。1階・2階ともに二方向から光が入り、外の景観も楽しめる図書館である。

蔵書数約6万点（児童書・一般書・実用書・CD）で、オープンから約5万冊の本の貸し出しがあったとのことである。貸出数からみても、待ち望まれた図書館であり、住民にとって必要不可欠なものであるように思えた。

住民は若い世代が多く、立地条件がよく利用しやすい環境にあるので、今後図書の増加とともに利用者もさらに増え、地域に密着した図書館になるよう期待している。小さな子どもが本にふれ、長じて学校図書館、大学図書館、そして年齢や専門性に応じた図書館の利用をするが、最初と最後は公共図書館である。老人から子どもまでの全てのニーズにこたえることは難しいが、人間の一生ですばらしい時間を過ごすことのできる施設を身近に感じることができた。

【荒木由紀子（淑徳大学附属図書館）】

平成12年度第2回研修会《H12.11.22 会場：千葉中央コミュニティセンター千鳥の間》

○講師 尾下千秋 氏（株式会社 図書館流通センター 代表取締役社長）

テーマ 「出版物の行方と図書館」

「第2回研修会に参加して」

この研修会に参加した理由は、「出版物の行方と図書館」という講演テーマが、図書館界や出版界の現状や問題点、そしてこれからのあり方を考えさせられるものであり、大変興味を引かれたからです。

講演の概要は、①出版界の大きなうねり、②出版界に起きている問題、③図書館界に起きている問題、④出版物の行方でした。

その中で最も印象に残っているのは、出版物がデジタル化され、いままでの印刷方法から大きく変わりつつあること。

それにより、利用者（個人）の図書館利用の方法や考え方も変わっていくであろうということです。インターネットを通じて、本を購入したり、電子ブックで、いつでも・どこでも読書や調査ができたりと、家にいながら図書とかかわることができるなら、市民図書館はどうなっていくのでしょうか。

これからの図書館のあり方について考えさせられ、大変有意義な時間でした。

関係者の皆様有り難うございました。

【川名 典代（千葉市みやこ図書館）】

平成12年度第3回研修会《H13.2.20 会場：千葉市中央図書館・生涯学習センター》

「千葉市中央図書館見学記」

平成13年4月1日の開館を予定している千葉市中央図書館。生涯学習センターとの併設の施設である。平成12年度第3回研修会が行われた2月20日現在、開館へ向けての追い込み作業があわただしく行われており、研修会参加者は正面入り口からでなく、北入り口と呼ばれる入り口から中へと通された。正面入り口から入れるようになった暁には、図書館とセンターを隔てるように設けられている室内庭園が利用者を迎えてくれる。この室内庭園は、天井までガラスで覆われた、板張りの階段状に造られた、非常に開放的な空間である。

さて、閲覧室に入ってみる。書架は、まだ完全に資料が並んでおらず、床もところどころ保護シートが張られた状態だったが、木目が生かされた温もりのある造りで大きな窓で採光も良い。

当然バリアフリーの造りになっていて、目の不自由な利用者を音声で案内する設備も備えている。児童書コーナーの、色とりどりの小さな椅子も見ていると楽しい。さらに「おはなしのへや」には光ファイバーを用いた演出が施され、今にも子どもたちの感嘆が聞こえてきそうである。

館内には10を越えるカウンターがあり、利用者を待ち受ける。また、書架の各連には大きく連番の表示がされていて、カウンターの多さとあいまって利用者を迷わせることなく、資料へと誘導することだろう。ただ、この連番を表示している板が金属光沢も手伝って、視界をさえぎっているようで圧迫感を感じ私には残念に思えた。

この図書館は、単なる市立の図書館ではなく、市内30を越える図書館・公民館図書室の中核となるべき図書館である。それだけに、人数・資質共に十分なスタッフで開館の日を迎え単なる「箱」で終わることのないよう、千葉市民の一人として切に希望する。



千葉市中央図書館自動出納書庫

【森 一郎 (千葉大学附属図書館)】

平成13年度第1回研修会

《H13.5.11 会場：千葉市生涯学習センター大研修室》

- 講師 大場高志 氏 (千葉大学附属図書館情報サービス課長)
テーマ 「著作権をめぐる課題と図書館」
- ・著作権法 30条と31条
 - ・図書館の役割
 - ・大学図書館と文献複写サービス
 - ・日本複写権センターの現状
 - ・著作権の今後の課題

(日本複写権センターとの協議、著作権法31条と30条との考え方、公衆送信権の時代のILL(DDS)、著作権処理の簡便化、確実化)



大場氏 (千葉大附属図書館)

平成13年度第2回研修会 (公開講演会)・蔵書展

《H13.11.23~25 会場：千葉市生涯学習センター》

平成13年11月23日(祝)~25日(日)に行われた「第9回学びを楽しむ日」に合わせ、千葉市図書館情報ネットワーク協議会の主催による「蔵書展」と「公開講演会」の記念事業が、千葉市生涯学習センターを会場として行われました。これは、4月に千葉市中央図書館がオープンしたことを機に、本協議会や加盟館の活動を千葉市民にアピールすることをねらいとするものでした。



狩野氏
(千葉市中央図書館長)

1. 「ねじめ正一講演会」に参加して

ねじめ正一と言えば、長島・高円寺・熊谷真美、それにやじうまワイドかな・・・なんて思いながら家を出た。この日千葉市生涯学習センターに入った途端、指笛が響いたのにはびっくり。1階正面階段前でボランティアの方が指笛コンサートをやっていた。普段音のない意外な場所で聞く音楽は驚く。生涯学習フェスティバルの様々な催し物で、なにやらいつにない熱気を帯びていた。ライブで初めて聞く指笛や編み物展示のすてきなショーを横目に見ながら、我が千葉市図書館情報ネットワーク協議会がフェスティバルの一環として行う「ねじめ正一講演会」に向かった。正面玄関では事務局の千葉市図書館の方々講演会のビラ配りをしていらしたり、蔵書展では受付などをしていただいた各図書館の方々、何もせずノウテンキで行った当方としては頭が下がります。スママセン。

開口一番、「すてきな会場ですね。音楽会なんかやったほうがいいんじゃないの」と、ねじめ氏。やはりというか、当然長嶋さんのことで30分程、「今日はもう全部長嶋さんのことでいいんだけど」とお話をさしたが、やはりライブは楽しい。

氏の小説に登場する高円寺商店街は、学生時代友人がいてよく遊びに行った所で他人事とは思えない。まして熊谷真美のお母さんが主人公の「熊谷突撃商店」のキヨ子さんとのことは、伺って良かった（当然、松田優作のことも）。町中の人々が、ねじめ氏の父上も、キヨ子さんに関心を持つ、キヨ子さんの不思議な出現。ねじめ氏とこれまた不思議な数年毎の出会い。土地が物語を生むことを思うとき、高円寺は必然となる。

氏が何度もキヨ子さんに話を聞くうちにキヨ子さんが入れ込み、モデル＝自分自身になってしまい、ある意味辛かった時期もあるといていたが、作品を作り上げるには、さまざまな力があること、作者とモデルの位置・関係は凄さを持ってはじめて作品が完成すると知らされた。

キヨ子さんはこの世への別れもかっこよかったが、氏が最後に言った「もうキヨ子さんのように作品はつくれないよ。よくつきあってくれた」は、印象的だった。

ねじめ氏は、いつもすごくよいことを「長嶋さんの」というと言っていたが、TVで見ているのと変わらずに常に自分の言葉で話すので、声も含めて、気持ちよかった。深刻な内容のときでさえ気分が良かった。ライブはやはり贅沢だ。

事務局はじめ会長、副会長及び関係者の方々ありがとうございました。【平川 裕子（千葉県立衛生短期大学図書館）】



生涯学習センターアトリウムの天窓から射すまぶしい光の下で、「ねじめ正一の講演会いかがですかー」と行き交う人にパンフレットを渡している自分を、昔似たような光景があったなと思い出しました。アルバイトの風船売りの手伝い「フーセンいかがですかー」、ねじめさんの安売りをしているようで、講演会場の一番後ろでなんだか申し訳なく、売れ残ってしぼんだ風船の気持ちで椅子に座りました。

なんと、眼鏡を掛け風船のようにふくらしたねじめさんが、ライトに照らされて登場してきました。なんだかホッとしました。安売りしていたのに朗らかに話し始めたのです。

ねじめさんが大の長嶋ファンであると巷に知れ渡っており、聞く側としては、まず長嶋関連の話題に期待するところですが。意に違わず、登壇するや長嶋さんの引退試合の観戦と試合後の会談、さらに巨人軍キャンプ地の取材で食事を一緒にしたこと等、自慢話ではないと言いつつ「ほくそ笑み」ながら、言葉の端々に「俺は、長嶋さんと直に飯食ったぞ！」というキラキラしたものが垣間見えるのでした。それは、嫌みではなく聴衆を引き付ける手練であり、作家の文体同様の手管なのだとな得し、こちらも「ほくそ笑み」ながら引き込まれていくのでした。

落語で言う「まくら」を十分に語った後、昭和30年代のねじめさんの目から見た高円寺商店街の人達の話へと移って行き、家業の乾物屋のこと、遊び人の父親と酔っぱらいの友人のこと、好きな女の子が乾物を買いに来たので、舞い上がり適当に量り売りしたこと等、断片的な逸話を作家らしく繋ぎ合わせ、飽きさせることなく気持ちを込めて話されました。

単なる思い出話でなく、連作の「高円寺純情商店街」・「熊谷突撃商店」・「熊谷キヨ子最後の旅」へといつの間にか演題の「小説の周辺」にしっかりと納まっているのでした。

今回の講演を文章にすると、掌編の随筆として楽しい読み物になると思われます。聴いて心底良かったと思える講演でした。【安西 良一（千葉市花見川図書館）】

2. 「蔵書展」

資料名	内容等	所蔵館
ちりめん本 ・「桃太郎」・「かちかち山」他	明治期、外国人の土産として刊行された翻訳本で、ちりめんの技術は昭和30年頃終息した。	放送大学 附属図書館
点訳絵本 ・「ぐりとぐら」	視覚に障害がある方も、子どもに絵本を読んであげられるよう、絵の上に透明な点字シールを貼付したもの。	千葉県立 中央図書館
・「英字訓蒙図解」 ・「洋学楷梯」	・明治4年刊行の和装本（木版）。 ・子どものための挿し絵入り英語単語集、英語入門書。	神田外語大学 図書館
・「原子爆弾による広島戦災医学的調査報告」 ・「原子爆弾災害調査報告書」	・昭和20年、陸軍軍医学校刊行。 ・昭和28年、日本学術振興会刊行。	放射線医学総 合研究所
・「図案新集」（鹿島英二） ・「図案」（松岡寿） ・「図案」（安田祿造）	東京高等工芸学校（千葉大学の前身）の蔵書。 当時の教授陣の作品数点。	千葉大学 附属図書館

<ul style="list-style-type: none"> ・「通貨と金融の研究」初版 ・「純粋経済学要論」初版 ・「経済学原理」初版 ・「理論経済学の本質と主要内容」初版 	<ul style="list-style-type: none"> ・1884年、ジェヴォンズ著、ロンドン刊。 ・1874-77、ワルラス著、パリ刊。 ・1890年、マーシャル著、ロンドン刊。 ・シュンペーター著、ライプツィヒ刊。 	敬愛大学図書館
<ul style="list-style-type: none"> ・DIJITAL KONTROL UYGULAMALARI ・CURSO TECNICO DE INSTRUMENTACION INDUSTRIAL ELETRONICA DIGITAL 	現地語（トルコ語・ポルトガル語）で作られた教材。（開発途上国に対する技術協力で海外に設けられた職業訓練センターにおいて使用されるもの）。	(財) 海外職業訓練協会 OVTA図書館
<ul style="list-style-type: none"> ・「カンタベリー物語」（復刻） ・百万塔陀羅尼（複製） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「英詩の父」と称されるチョーサーの著 ・最古の印刷物（経文）を収納した仏具。 	千葉経済大学 総合図書館
<ul style="list-style-type: none"> ・「The History of Java」初版 ・「朝鮮地図帳」 ・「伝記と歴史における事蹟の驚くべきこと」（アラビア語） ・文化大革命時代の小冊子 	<ul style="list-style-type: none"> ・1871年、Thomas Stamford Raffles著。 ・1978年、北朝鮮刊行地図帳。 ・19世紀初頭、al-Jabarti著。（イスラム年代記） ・1969年代。 	ジェトロ・ アジア経済研究所 図書館
<ul style="list-style-type: none"> ・淑徳大学社会学部研究紀要 ・淑徳大学社会学部研究叢書 ・淑徳大学大学院研究紀要 	<ul style="list-style-type: none"> ・第31号～35号、淑徳大学社会学部研究公開委員会。 ・第1号～14号。 ・第4号～8号。 	淑徳大学 附属図書館
・プレーメンの音楽隊（原画）	・ハンス・フィッシャー（リトグラフ、手彩色）。	千葉市中央図書館



平成13年度第3回研修会《H14.3.8 会場：中央コミュニティセンター》

- 講師 酒川玲子氏（元日本図書館教会事務局長）
 テーマ 「著作権と図書館——『文化審議会著作権分科会審議経過の概要』を中心に」
- ・文化審議会著作権分科会設置の経緯
 - ・分科会の下に4小委員会を設置して検討を進める。
 - ・図書館等WGメンバー
 - ・両者の論点について
 - ・今後の検討について
 - ・「図書館等における著作物等の利用に関する検討」会の開催



平成14年度第1回研修会《H14.5.17 会場：幕張ベイタウン・コア》

- 1部 「図書館サービスの改善について」 〈新しい方向性を示唆する提案〉
 【提案 日本貿易振興会・アジア経済研究所図書館：橋本真治 館長】
 厳しい経済情勢などを背景として、どの図書館でも予算確保が大変困難な状況が続いている。また、それら波が押し寄せる中で、数値化による効果の測定などが要請されている現実が指摘された。
 そのような状況に立ち向かい、「攻め」の運営・経営をするために、ネットワーク協議会加盟館相互の情報交換や相互理解・アイデアの共有化の必要性が指摘された。
 そして、14年度研修テーマを踏まえ、トップを切る形で、アジア経済研究所図書館の運営状況や業績評価をもとに熱弁をふるっていただいた。

今後、業績評価の方法、各加盟館からの報告・提案などを今年度の研修として展開していきたい。

○2部 「美浜図書館打瀬分館の整備について」

【提案 美浜図書館：照井 始 館長，打瀬分館：安西ひろ美 氏】

今年4月に開館した打瀬分館の整備経過や、利用者の特色等について説明された。

千葉県企業庁が建物を建設し、千葉市に無償譲渡されたもので、できるだけ住民の意見を反映させながら建設を進め、今年3月開館記念式典を開催した。

利用者は非常に多く、日曜日には1日に1,800人近い入館者を記録し、4月の総入館者は18,637人に達する。また、貸出総数は26,129点に達するとのことであった。その後、各自打瀬分館を見学し、解散となった。



橋本氏（アジア経済研究所図書館）

平成14年度第2回研修会（H14.11.15 会場：ジェトロ・アジア経済研究所図書館）

「第2回 研修会報告」

第2回研修会では、県立、市立という役割の異なった公共図書館の事例、アジア経済研究所図書館の施設見学が行なわれた。

(1) 『千葉県立図書館インターネット系システムについて』資料課長鈴木氏より事例発表。

インターネット導入に際し、利用者が必要な情報に即アクセスできる事を最優先とし使いやすく工夫した。（ホームページはデザインより利用者が使いやすい事に重点をおいた、トップページに2か月分開館日の表示、視覚障害者のためにはホームページリーダーをつける等）

県立のホームページから「横断検索システム」を使って県内公共図書館の蔵書が検索可能だが、平成14年度には12市町村（31館）が参加見込み。来年度は柏市を想定している。県内公共図書館のネットワーク化が推進されれば、将来的には現在より優れた効率があげられる事は目に見えている。

県内を3エリアに分け、県のメールカーが其々のエリア内を繋いでいる。物流が伴うのが何よりも強みである。相互協力サービスが充実すること、eメールによるレファレンス等も早く実現して欲しい。

検索時、入力方法の違いで目的の資料が検索できない場合が生じる。相手館の環境に合わせているので、検索には各館入力方法が異なることを知っておく必要がある。

(2) 千葉市立中央図書館は吉沢主査による『「図書館サービスの改善」を目指して』の事例発表。

千葉市の中央図書館では「意見箱」を通じて、利用者の声を聴き図書館サービス改善を行なっている。図書館の評価は、数値によるものばかりでない。利用者の声を聴く事は重要な事である。

そこに図書館の建物があり、長時間開館している、蔵書冊数が多いだけの理由で満足するものではない。何でもこれで良いのだという事はない。常に向上して行かなければならない。まして図書館は利用者に支持されなくてはならないのだ。今後、どのような図書館サービスについての改善に繋がるか、常に新鮮な感覚を持って仕事に携わりたい。

(3) アジア経済研究所図書館の施設見学では、実際に業務に携わる人間として役立つ情報が得られた。収集資料はアジア・中東・ラテンアメリカ・オセアニア等、特徴として近年は中国関係の図書が多い。所蔵雑誌には、それぞれランク付けされ保存期間が決まっている。

Cランクの雑誌は日本語雑誌。保存期間が過ぎれば廃棄される。特徴ある資料なので、他加盟館へ移管し活用できないのか、加盟館で分担収集できれば再活用できるのではないか。このような例が他にもないだろうか。

図書館は、数値だけでは測ることが困難なサービスである。しかし図書館の社会認識度はまだまだ低い。図書館が如何に生き残れるか、社会に理解され評価されるのか。

地域に根ざす図書館として館ごとの創意工夫、相互協力が今以上必要となる。実務レベルでの具体的な協力体制、活用が検討できないだろうか。



鈴木氏（県立中央図書館）



吉沢氏（千葉市中央図書館）

【佐川久美（緑図書館）】

会場となったアジア経済研究所図書館では、マイクロ写真の閲覧がセルフサービス化されていて、簡単に何の気兼ねも無く利用できるよう工夫されていたり、貴重な大判の地図のコピーサービスが非常に安価で提供されていた。

また、千葉県立図書館では、ホームページの作成に当たって、県内各地の図書館の蔵書を同時検索できるシステムを構築したり、視覚障害者向けホームページ読み上げソフト「ホームページリーダー」に完全対応するため、読み上げ音声の不自然に途切れないように文章のレイアウトを工夫したり、ホームページ上のすべての写真・イラストに解説コメントを埋め込むことで読み上げを可能にしたりと、試行錯誤を繰り返しながらバージョンアップし続けているという。

さらに、千葉市中央図書館では、「利用者の小さな声」を聞き取るために意見箱を設置し、具体的な対応が必要と判断された事項は直ちに改善するとともに、連絡先が記入されている意見書に対しては、原則として文書によって回答しているため、意見書の長さによっては回答書も便箋何枚にも渡るものになるというお話であった。

「すべては利用者の方々のために」…いずれの施設においても、利用者の方々の訴えに対して真摯に耳を傾け、常に利便性の改善をし続けるという図書館運営姿勢が貫かれており、非常に大きな感銘を受けた。口にするだけなら誰にでもできる。利用者の方々の意見を聞くだけなら簡単であろう。だが、意見を聞き続けること、利便性の改善をし続けることとなれば話は別である。常に改善を止めないこと、常に新たなサービスを考え、実行し続けること。利用者の方々に様々なサービスを提供することを本分とする図書館員として、身の引き締まる研修会であった。

【田中宏明（生涯学習センター）】

平成14年度第3回研修会《H14.12.13 会場：OVTA》

糸賀雅児先生の講演会に参加して

独立行政法人化を今年10月に控え、図書館における業績評価が私の職場でも議論に上っていました。自らの不勉強から「図書館の業績を評価する」ということに、ある種偏見を抱いていた私には今回の講演会は大変有意義なものでした。中でも、最近の行政評価や図書館評価におけるアウトカム（成果、社会的貢献）の概念およびそれらを表す評価指標についてのお話には特に興味深いものがありました。それは①各種サービス（情報リテラシー、レファレンス等）のアウトプット指標の他に「図書館を直接利用しているか否かに関わらず、広く利用者コミュニティ（地域、企業、大学など）に対する貢献」を長期の評価指標としていること。②当図書館でも利用者アンケートの形で実施した利用者満足度調査とアウトカムとの関係—すなわち利用者満足度はアウトカムを語る指標として近年注目を集めている指標であること。③その具体的な調査項目等についてのお話でした。私には業績評価や利用者満足度調査の意義や目的が初めて正しく理解出来たように思います。またお話の中で業績評価指標としての最近の「利用者数の減少」について触れられていました。それを図書館経営上の問題として捉え、目指すサービスの対象者を明確にした上で質の向上を図ることの重要性を言っておられたように思います。図書館に来館する利用者の減少傾向の主たる要因は、ITなど情報技術の発達による非来館利用者の増加にあるというのは大方の一致したところであります。実際当図書館でもHPへのアクセス件数は増加の一途にあります。先生は「非来館型」の利用者も利用者満足度（顧客満足度）調査の対象者に加える必要があると述べられておられました。当図書館でも現在地への移転4年目を迎え、「来館者数の増加」が大きな課題のひとつとなっています。先生のお話のなかに今後の利用者サービスを考える上でのヒントを沢山頂いて講演会を後にしました。最後にこの講演会を企画していただきました千葉市図書館ネットワーク協議会に感謝いたします。どうもありがとうございました。

講演の後、糸賀先生も参加して、OVTA図書館を見学しました。【石崎えり子（ジェトロ・アジア経済研究所図書館）】



平成14年度第4回研修会《H15.1.31 会場：ジェトロ・アジア経済研究所図書館》

今回の研修会は、アジア経済研究所図書館と淑徳大学附属図書館の「図書館サービスの評価と改善・問題点」についての事例報告であった。

アジア経済研究所図書館では、「業績評価」と言うことで、外部利用者と職員に対してアンケート調査を実施した。そのアンケートをもとに図書館サービスの現状と課題に分け、サービスのあり方等を分析している。この図書館の蔵書の特徴として、途上国研究資料の網羅性、現地刊行資料の収集などがある。例えば、新聞129紙のうち100紙が現地語新聞であること、雑誌は日本語誌より現地語雑誌や英語雑誌がはるかに多いことである。

また、図書では各国の経済開発計画書や統計年鑑が充実しており、現地語図書として中国語書、コリア語書の所蔵が多いということであった。このようなことから、アンケート調査で資料については、外部利用者・職員ともに満足度が高かった。

だが、このような専門図書館でも、外部からの利用者数の減少という問題もあるようだ。

交通の便や開館日・開館時間が問題であるようだ。しかし、第1、3土



曜日を閉館することにより利用者数も増加し好評を得ているということである。

淑徳大学附属図書館は千葉図書館とみずほ台図書館があるが、今回は千葉図書館の現状ということで、「淑徳大学附属図書館データ比較表」と「淑徳大学学生生活実態調査報告書」をもとに報告された。

千葉図書館は、開館している時間がほかの私大図書館に比べ長く、社会科学分野の貸出が特に多いという。図書館の利用のしやすさや利用時間については満足感を表している学生が多いが、図書の蔵書数や蔵書の種類については不満感が強く、図書館の座席数ともなると極めて不満感が強いという。

このように不満感を満足感に近づけるにはどうしたらよいか、調査結果をさらに分析することにより、図書館のこれから目指すべきサービスがみえてくるのではないかと思う。

今回の報告で、業績評価や利用者満足度調査等の質問内容や結果分析にとても興味深いものがあった。ただ、前回の糸賀先生の講演会に参加していれば、この研修がより有意義だったのではと思うと残念である。

【安西ひろ美（美浜図書館打瀬分館）】

平成15年度第1回研修会《H15.5.16 会場：神田外語大学附属図書館》

神田外語大学附属図書館等を見学して

開館間もないインテリジェント校舎である6号館や庭園、図書館等を視察した。

6号館は、窓の外にイギリス式庭園を望み、シェークスピアゆかりの草花を眺めることができる。6号館1階の「メディアプラザ」は明るく開放的なスペースに、多数のパソコンが設置されており、大小の学習ブースや教室、スタジオ、プレゼンテーションルームなどがある。また、複数の海外放送が常時流されており、英語だけでなく様々な言葉が飛び交うホットな空間となっている。2階にはSALCやELIなど、学生の自主的な語学学習に対応できるような先進的な施設があり、どれもこれももうやましいの一言につきる。

図書館は、外国語大学の図書館とあって、約14万冊の蔵書のうちざっと半数を様々な言語の洋書が占める。蔵書の増加と共に書架等の所蔵スペースが手狭になり苦慮しているとのこと。

面積は1,423㎡、閲覧席307、校舎の1階にあるため管理はしやすい。また、教室であったところを有効に利用して閲覧席や閉架書庫としており、工夫されていることが見てとれた。先に訪問した6号館がオープンしたことにより、図書館にはやや学生の姿が少なくなったとのこと、ゆとりのある落ち着いた雰囲気が感じ取れた。

いただいた資料の中に神田外語大学附属図書館発行の「本はおもしろい」なる新書版の冊子を発見。中を拝見し、まさに「おもしろい本」を再確認する共に、図書館や先生方の、学生に対する積極的な働きかけの工夫が感じられた。

【事務局】



平成15年度第2回研修会《H15.10.31 会場：独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館》

第2回研修会は、筑波大学の永田治樹先生を迎え、「図書館のマーケティング・リサーチ」をテーマとした講演会であった。さらに千葉経済大学総合図書館課長の古賀実生氏による事例報告、そして会場であるジェトロ・アジア経済研究所図書館の見学が行われた。

マーケティングとは経営活動のことである。単に配布物等によるプロモーションだけでなく、図書館にとってどのような活動場所があるか調査することは、サービスの改善や経営方針の決定への大きな指標となる。

講演の中で提示されたアンケート集計で特に印象に残ったのは、図書館の利用者減少は、予算削減や人件費の問題とはあまり関係が無いということである。そして、利用者が図書館に関して一番重視してい



るのは開館時間であるという結果が示された。開館時間を延長した図書館は利用者数が平行状態であるのに対し、従来どおりの図書館は減少している。若者等のライフスタイルの大きな変化に図書館がついていけないことも考えられる。どの年齢層やどの分野がその図書館の中心となるのか。どこに重点を置きつつ、全体をカバーするのか。“その図書館ならではの”、『アクセントのついたサービス』を行っていかなくてはならない。

「利用者の要求や期待に応えることは重要である。しかし決断するのは利用者ではなく、あなたがた図書館員である。」という永田先生の言葉に、これからの図書館のあり方について改めて考えさせられた。



千葉経済大学総合図書館の事例報告では、情報化時代に伴い業務のIT化を進めてきた経過を知ることができた。近年では機器を利用する職員、利用者には情報収集能力の個人差が激しく、利用指導が必要になっているのが特徴といえる。

平成14年から開始された地域への図書館開放は、学生や研究者、公共図書館にとって大変有意義なものだと感じた。そして利用状況もそれを裏付けるように、年配者や他大学の学生、留学生が中心であり、再来館率も高い。図書館としては、それまで自校の学生のみが利用者であっただけに、利用者への対応の仕方等に配慮しているようである。

最後に希望者への会場見学が行われた。ジェットロ・アジア経済研究所図書館は、アジア開発途上国・地域を主な対象とした、経済・政治・社会分野の文献を数多く所蔵しており、その大半を開架に置いている。貴重な資料を直に手に取ることができることに参加者は皆驚きを隠せなかった。資料はすべて館内閲覧のみであるが、だれでも入館でき、複写サービスも整っている。館内に設置してあるOPACでは、一部地域を除いた各国語による検索が可能であり、市内にこのような専門図書館があるとこは心強い限りである。



荒井氏
(アソ研図書館長)



古賀氏 (経済大学総合図書館)

今回の研修は今後の図書館サービスを考える上で大変参考になった。普段なかなか足を運べないネットワーク協議会加盟館の図書館を見学できたのもとても良い経験であり、有意義な研修会を企画していただき、心から感謝している。

【加納あゆみ (千葉市中央図書館)】

平成15年度第3回研修会《H16.1.30 会場：千葉大学附属図書館》

- 講師 尾城孝一氏 (千葉大学附属図書館情報サービス課長)
- テーマ 「ネットワーク環境下における大学図書館機能の再構築」
 - ・図書館機能の再考
 - ・新しい機能
 - 収集－ライセンス、紙媒体資料の電子化、
 - サブジェクトゲートウェイ、学術機関リポジトリ
 - 利用提供－図書館ポータル、デジタルレファレンス、
 - オンラインチュートリアル
 - ・課題と展望
 - eコレクションの管理・保存、ハイブリッド図書館、
 - コンソーシアムによる取り組み



尾城氏 (千葉大学附属図書館)

- 事例報告 尾城孝一氏
 - テーマ 「千葉大学学術情報リポジトリ計画」について
 - ・期待される効果
 - 大学からの情報発信機能の強化 (統一的な情報発信窓口、大学の説明責任)
 - 学術コミュニケーション・システムの変革 (リポジトリネットワーク、無料でアクセスできる学術論文の増加、商業出版社の寡占システムの打破)、
 - ・今後の展望 (リポジトリ共同体、大学図書館とNIIのコラボレーション)
 - ・千葉大学学術リポジトリ計画 (プロトタイプ版の開発、平成16年度運用開始予定)
- 施設見学 千葉大学附属図書館 (並行して第3回理事会の開催)

千葉市図書館情報ネットワーク協議会会則

(名称)

第1条 本会は、千葉市図書館情報ネットワーク協議会（以下「協議会」という。）と称す。

(目的)

第2条 協議会は、千葉市内の公共図書館、大学図書館、専門図書館、博物館、美術館等の図書室、試験研究機関の図書室その他これらに類する機関（以下「各種図書館」という。）の相互協力を通じて、その情報提供機能を強固にし、図書館サービスの向上を図るとともに、学術研究及び生涯学習の発展に寄与することを目的とする。

(組織)

第3条 協議会は、前条の趣旨に賛同して加盟する千葉市内の各種図書館（以下「加盟館」という。）をもって組織する。

- 2 会員になろうとする各種図書館は、「千葉市図書館情報ネットワーク協議会加入申込書（様式1）」を提出するものとする。
- 3 協議会は、前項の申請を受理したときは、理事会に諮り入会を承認した場合には、「千葉市図書館情報ネットワーク協議会加入承認書（様式2）」を交付するものとする。

(事業)

第4条 協議会は、本会の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 各種図書館の相互協力
 - (2) 図書館資料収集の調整に資するための調査研究
 - (3) 所蔵資料に関する情報及び書誌目録等の交換
 - (4) 相互協力に関する調査研究
 - (5) 相互協力に関する研修
 - (6) その他相互協力推進に必要な事業
- 2 事業についての必要な事項は、別に定める。

(役員)

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 理事 10名以内
- (4) 監査 2名

(役員の仕事)

第6条 会長は、協議会の会務を総括し、協議会を代表する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を組織し、協議会を運営する。
- 4 監査は、会計を監査する。

(役員を選出)

第7条 会長及び副会長は、理事の互選とする。

- 2 理事及び監査は、総会において選出する。
- 3 理事及び監査は、加盟館の属する機関の職員とする。

(役員の仕事)

第8条 役員の仕事は、2年とし再選を妨げない。

- 2 役員は任期満了した場合であっても、後任者が選出されるまでの間、その職務を行うものとする。
- 3 役員に欠員が生じた場合の補欠役員の仕事は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第9条 会議は、総会及び理事会とする。

- 2 会議は会長が招集し、会長がその議長となる。

(総会)

第10条 総会は、定例総会及び臨時総会とする。

- 2 定例総会は年1回開催し、臨時総会は必要に応じて開催する。

3 総会は、加盟館の3分の2以上の出席により成立し、その議事は出席者の過半数でこれを決定し、可否同数の場合は議長の決定するところによる。

- 4 総会は次の事項を審議決定する。
- (1) 当該年度の事業計画及び予算に関する事項
 - (2) 前年度の事業報告及び決算に関する事項
 - (3) 会費に関する事項
 - (4) 会則の変更及び諸規程の制定・改廃
 - (5) その他相互協力に必要な事項
(理事会)

第11条 理事会は、必要に応じて開催する。

- 2 理事会は、次の事項を審議決定する。
- (1) 本会事業の企画及び運営に関する事項
 - (2) 総会に付議すべき事項
 - (3) 入退会に関する事項
 - (4) その他、会長が必要と認めた事項

3 理事会は、理事（代理人）の3分の2以上の出席をもって成立し、その議事は出席者の過半数でこれを決定し、可否同数の場合は議長の決定するところによる。
(会 計)

第12条 協議会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。

2 会費については別に定めるところによる。

第13条 協議会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。
(事務局)

第14条 協議会に事務局を置く。

第15条 本会則に定めるもののほか、必要な事項は会長が理事会にはかって定める。
附 則

この会則は、平成6年1月12日から施行する。

この会則は、平成10年5月21日から施行する

加盟館一覧 (平成16年3月現在)

財団法人海外職業訓練協会 OVTA 図書館	放射線医学総合研究所図書室
JFEスチール(株)スチール研究所図書・情報室	神田外語大学附属図書館
敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター	淑徳大学附属図書館千葉図書館
千葉経済大学総合図書館	千葉県立衛生短期大学図書館
千葉市議会図書室	千葉市教育センター図書資料室
千葉市美術館 美術図書室	千葉市中央図書館
千葉市みやこ図書館	千葉市花見川図書館
千葉市稲毛図書館	千葉市若葉図書館
千葉市緑図書館	千葉市美浜図書館
千葉大学附属図書館	千葉明德短期大学図書館
東京歯科大学図書館	東京情報大学 総合情報センター
メディア教育開発センター	放送大学附属図書館
千葉県立中央図書館	日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館
植草学園短期大学図書館	千葉市生涯学習センター調査・資料室
独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター図書情報閲覧室	

加盟館案内 (蔵書数は平成 15 年 3 月 31 日現在)

財団法人海外職業訓練協会 OVTA 図書館

TEL 043-276-7236 FAX 043-276-0234
所在 〒261-0021 美浜区ひび野 1-1
(JR 京葉線海浜幕張駅より徒歩 8 分)
開設 1984 年 11 月
面積 714 m²
蔵書 国内外の能力開発, 海外事情, 国際協力
外国語・日本語学習, 労働・経営 他
開館 月・水・金 9:15~17:30
火・木 9:15~19:00
休館 土・日曜日, 祝日, 年末年始, 11 月 9 日
特長 一般に公開し, 貸出しサービスする専門図書館。各国の労働情報に関する専門的資料からガイドブックといった一般資料まで幅広く集めている。中国語, 韓国語, インドネシア語, タイ語 等, なじみ少ない言語の教材も図書, カセット・CD と揃え, 貸出も行っている。海外に関心のある方々の幅広いご利用に
応えている。

HP <http://www.ovta.or.jp/>

放射線医学総合研究所図書室

TEL 043-206-3053 FAX 043-287-7629
所在 〒263-8555 稲毛区穴川 4-9-1
(JR 稲毛駅東口より徒歩 10 分)
開設 1957 年 7 月
面積 765 m²
蔵書 79,175 冊 雑誌 351 誌 新聞 13 紙
VTR88 ケット 24
開館 月~金 9:00-17:00
休館 土・日・祝・年末年始
特長 放射線が人体及び環境に与える影響の解説並びに放射線の医学利用に関する文献や IAEA, ICRP, NCRP 等の国際機関のレポートを収集している。

HP <http://www.nirs.go.jp>

JFE スチール(株)スチール研究所 図書・情報室

TEL 043-262-2441 FAX 043-262-2592
所在 〒260-0835 中央区川崎町 1
開設 1969 年 4 月
面積
蔵書 単行本 2 万冊; 雑誌 500 種; その他社内外技術資料
開館 非公開
休館
特長 JFE スチール(株)および関連会社の研究活動支援を目的とした専門図書館。金属, 材料関係の専門書が中心で, 近年は, インターネット, イントラネットをはじめとした電子情報サービスに注力している。

神田外語大学附属図書館

TEL 043-273-1192 FAX 043-275-2783
所在 〒261-0014 美浜区若葉 1-4-1
(JR 京葉線海浜幕張駅から徒歩 15 分)
(JR 総武線幕張駅南口から徒歩 20 分)
開設 1987 年 4 月
面積 1,423 m²
蔵書 140,000 冊 雑誌 1,768 誌 新聞 38 紙
CD289 VTR814 カセット 531 MF3
開館 月~金 9:00-19:50, 土 9:00-15:30
休館 日, 祝, 毎月最終土, 年末年始, 他
特長 言語学, 地域研究関係図書を中心に人文科学, 社会科学関係の資料を収集。特殊コレクションとしてケネス・レクスロス・コレクション (米国の詩人の蔵書), 洋学コレクションを所蔵。

HP <http://www.kuis.ac.jp/toshokan/>

加盟館案内

敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター

TEL 043-284-2307 FAX 043-284-4196
所在 〒263-8588 稲毛区穴川1-5-21
開設 1966年4月1日
面積 3,558.1 m²
蔵書 図書101,548冊 雑誌1,024誌
新聞22誌 CD, VTR, DVD, 他
開館 9:00-18:30, 学生休暇中は17:00まで
休館 土・日・祝祭日・敬愛の日(6月3日)
特長 経済学関係図書を中心に収集。貴重本に Jevons, William Stanley 著「経済学理論」初版本他17冊, 自筆書簡1通所蔵。Marshall, Alfred 著「経済学原理」初版本所蔵。Economist (ロンドンエコノミスト) No1~所蔵。
学外者の利用公開実施。定期的にパソコンを使った公開講座実施。

HP <http://www.u-keiai.ac.jp/kulir>

淑徳大学附属図書館千葉図書館

TEL 043-265-7335 FAX 043-265-8084
住所 〒260-8701 中央区大巖寺200番地
開設 1965年4月(1965年)
面積 2,029 m²
蔵書 195,123冊(平成15年5月1日現在)
雑誌全所蔵種類数 3,309種類
開館 月~金 9:00-20:40
土 9:00~16:30
春・夏期休暇中 月~金 9:00-16:30
土 9:00-12:30
休館 日曜日・国民の祝日・創立記念日,
夏・冬期休業中の図書館長が指定する日,
その他図書館の都合により図書館長が指定する日
特長 千葉図書館の基本方針は,
① 社会科学系学術図書館をめざす
② 図書館のコンピュータ化(電算化)に対応すべき基盤の整備
③ 障害者に配慮した図書館機能の充実の3つがあげられる。

HP <http://library.soc.shukutoku.ac.jp>

千葉経済大学総合図書館

TEL 043-253-9941 FAX 043-255-3831
所在 〒263-0021 稲毛区轟町3-59-5
(JR総武線西千葉駅下車徒歩12分)
(千葉都市モラル 作草部駅下車徒歩5分)
開設 1993年4月1日
面積 2,269 m²
蔵書 186,535冊 雑誌725誌 新聞32紙
VTR 1,572 DVD 110 CD 1,478
CD-ROM 150 MF 2,510
開館 月~金 9:00-19:00, 土 9:00-16:30
休館 日・祝, 月始1日, 年末年始, 蔵書点検
特長 ○オンラインデータベース(EBSCOhost 他)
○人文・社会科学原典コレクション
(スコットランド啓蒙関係他)
○経済・経営・教育・情報関係資料
○地域開放(貸出;詳細は下記URL等)

HP <http://lib.cku.ac.jp/>

千葉県立衛生短期大学図書館

TEL 043-272-2987 FAX 043-272-2988
所在 〒261-0014 美浜区若葉2-10-1
(JR京葉線海浜幕張駅北口, またはJR総武線幕張駅南口から徒歩15分)
開設 1981年4月1日創設
面積 425 m²
蔵書 40,689冊 雑誌816誌 新聞10紙 VTR67
開館 月・金 9:00-19:00,
火~木 9:00-17:00
ただし長期休業中を除く
休館 土・日・祝日, 開学記念日4月20日,
年末年始, その他点検整理等に必要と認められた日
特長 看護・歯科衛生・栄養の各学科を持つ県立短期大学のため, 蔵書は, 看護や保健医療に関する本や雑誌が中心です。病気や健康についての情報が探せます。事前にご連絡ください。

加盟館案内

千葉市議会図書室

TEL 043-245-5472 FAX 043-245-5565
所在 〒260-8722 中央区千葉港1番1号
開設 1970年4月
面積 55.5 m²
蔵書 13,358冊 雑誌12種 新聞8紙
開館 月～金 8:30～17:15
休館 土・日・祝
特長 市議会議員の調査研究に役立てるため
行政関係資料を中心に収集しています。

千葉市教育センター図書資料室

TEL 043-285-0904 FAX 043-256-3778
所在 〒263-0021 稲毛区轟町3-7-9
(都市モノレール天台駅から徒歩7分)
開設 1984年4月1日開設
面積 109.75 m²
蔵書 教育関係図書13,747冊
教育関係資料13,271冊
開館 9:00～17:00
休館 土・日・祝・年末年始
特長 教職員の研究のための資料収集

HP <http://www.cabinet-cbc.ed.jp>

千葉市美術館 美術図書室

TEL 043-221-2314 FAX 043-221-2316
所在 〒260-8733 中央区中央3-10-8
開設 1995年11月
面積 70.7 m² 閲覧席数11席
蔵書 19,940冊
(内訳: 和書18,264冊 洋書: 1,676冊)
開館 10:00～18:00
休館 美術館に準ずる
特長 美術書専門の図書室として、開催中の
展覧会に関係した参考図書の紹介や、
国内外の美術館が刊行した図録及び画
集等の閲覧に供しています。
(コピーサービスは行っておりません)

HP <http://www.city.chiba.jp/art>

千葉市中央図書館

TEL 043-287-3980 FAX 043-287-4074
所在 〒260-0045 中央区弁天3-7-7
(JR千葉千葉駅北口から徒歩8分)
開設 2001年4月1日開設
面積 10,275 m²
蔵書 365,043冊 雑誌995誌 新聞146紙
CD 3,647 VTR 4,328 ケット1,049
MF 1,128
開館 火～金9:30～21:00, 土・日・祝9:30～17:30
休館 月, 第3木, 5月4日, 年末年始, 蔵書点検
特長 ○自動出納書庫〔公共図書館初〕
○BDS設置〔カバン等の持込み可〕
○バリアフリー端末設置〔全国初〕
○視覚障害者対応電磁誘導装置の設置
○ブックポスト返却本自動搬送装置
〔全国初〕
○ハートビル法基準に適合
HP <http://www.library.city.chiba.jp/>

加盟館案内

千葉市みやこ図書館

TEL 043-233-8333 FAX 043-234-4187
所在 〒260-0001 中央区都町3-11-3

開設 1989年11月開館

面積 1,753 m²

蔵書 約13万冊

開館 火曜日～日曜日 9:00-17:00

休館 毎週月曜日、祝日、(月曜日が祝日の場合は翌日も休館)、毎月第3木曜日、5月4日、年末年始(12月28日～1月4日)特別整理期間(蔵書点検)

特長 生涯学習の場として、市民の学習に寄与するとともに、急激に変わりつつある現代社会の様々な情報を求めに応じて的確に提供します。身近な市民の書齋として活用されています。

HP <http://www.library.city.chiba.jp/>

■ みやこ図書館白旗分館

TEL 043-264-8566 FAX 043-268-1032

所在 〒260-0841 中央区白旗1-3-16

千葉市稲毛図書館

TEL 043-254-1845 FAX 043-284-4795

所在 〒263-0043 稲毛区小仲台5-1-1

(JR稲毛駅東口から)

開設 1972年6月1日開館

面積 2,800 m²

蔵書 170,906冊 雑誌167冊 新聞15紙
CD 2,484 VTR53 カセット

開館 火～日 9:00-17:00

休館 月、祝、第3木曜、5月4日、年末・年始、蔵書点検期間

特長 ○緑豊かな環境にあり、市で最初に設置された図書館

○市優秀建築賞を受賞した、住民が利用しやすい施設

○児童を対象としたおはなし会、障害者の方への宅配など、地域住民へのサービスの実施

HP <http://www.libry.city.chiba.jp/>

千葉市花見川図書館

TEL 043-250-2851 FAX 043-250-2853

所在 〒262-0005

花見川区こてはし台5-9-7

(JR稲毛駅から京成バス「こてはし団地」行、こてはし第三下車徒歩1分、または京成勝田台駅から京成バス「こてはし団地」行、こてはし第三下車徒歩1分)

開設 1978年5月1日開館

面積 1,200 平方m²

蔵書 133,166冊

開館 火～日 9:00-17:00

休館 月・第3木・祝祭日・年末年始・蔵書点検

特長 利用しやすい、地域の生涯学習施設

HP <http://www.library.city.chiba.jp/>

■ 花見川団地分館

TEL 043-250-5111 FAX 043-250-5112

所在 〒262-0046 花見川区花見川1-1

千葉市若葉図書館

TEL 043-237-9361 FAX 043-237-5163

所在 〒264-0004 若葉区千城台西2-1-1

(千葉都市モノレール千城台駅3分)

開設 1974年8月1日開館

面積 1,147 m²

蔵書 124,822冊 雑誌138誌 新聞14紙
CD1,890, カセット402

開館 火～日 9:00-17:00

休館 月、第3木、5月4日、年末年始、蔵書点検、祝日

特長 ○生涯学習の中核として、また市民のための情報センターとして子供からお年寄りまでが、気軽に利用しやすい地域密着型の図書館

HP <http://www.libry.city.chiba.jp/>

■ 西都賀分館

TEL 043-254-8681 FAX 043-254-8682

所在 〒260-0026 若葉区西都賀2-8-8

加盟館案内

千葉市緑図書館

TEL 043-293-5080 FAX 043-293-5100
所在 〒266-0031 緑区おゆみ野3-15-2
(JR 鎌取駅南口から徒歩5分)
開設 2000年4月1日開館
面積 1940.06 m²
蔵書 118,739冊 雑誌184誌 新聞16紙
CD2,257枚 VTR42本 ケット206本
開館 火～日 9:00-17:00
休館 月, 祝日, 第3木, 5月4日, 年末年始,
蔵書点検
特長 ○BDS設置。(CDは現物配架)
○館内はBGMが流れ滞在型図書館。
○鎌取コミュニティセンターと複合施設。
○おはなし会は, 毎週金曜日午前1回,
午後2回開催。

HP <http://www.library.city.chiba.jp/>

■ 緑図書館あすみが丘分館

TEL 043-295-0200 FAX 043-295-0219
所在 〒267-0066 緑区あすみが丘7-2-4

■ 緑図書館土気図書館

TEL 043-294-1666
所在 〒267-0061 緑区土気町1634

千葉市美浜図書館

TEL 043-277-3003 FAX 043-278-4303
所在 〒261-0004 美浜区高洲3-12-1
(JR 稲毛海岸駅から徒歩5分)
開設 1980年11月開館
面積 1,109 m²
蔵書 132,526冊 雑誌168誌 新聞22紙
CD3,137点
開館 火～日 9:00-17:00
休館 月, 第3木, 5月4日, 国民の祝日,
年末年始, 蔵書点検
特長 ○図書館(1階)はコミュニティセンターとの複合
施設

○コンピュータによる検索コーナー(6席)

○障害者サービス(宅配サービス)

HP <http://www.library.city.chiba.jp/>

■ 美浜図書館打瀬分館

TEL 043-272-4646 FAX 043-272-4648
所在 〒261-0013 美浜区打瀬2-13

千葉大学附属図書館

TEL 043-290-2258 FAX 043-290-2266
所在 〒263-8522 稲毛区弥生町1-33
(JR 西千葉駅北口から徒歩10分)
開設 1950年4月開設
面積 9,597 m²
蔵書 1,074,920冊 雑誌15,295誌 新聞53
紙 CD707 VTR2,414 カセット411
MF50,497
開館 平日:9:00-21:45 土・日:12:30-18:00
休館 祝, 月末, 年末年始, 休業期の土日等,
館内整理期間(8月中旬), 大学祭(11
月初旬), 入学試験
特長 ○電子ジャーナルの提供(約7,000誌)
○自動貸出・返却装置
○インターネット対応利用者用パソコ
ン
○OCS・BS放送の受信装置

HP <http://www.ll.chiba-u.ac.jp/>

千葉明德短期大学図書館

TEL 043-265-1613 FAX 043-265-1627
所在 〒260-8685 中央区南生実町1412
(京成ちはら線「学園前」駅より徒歩3分)
開設 1972年4月開館
面積 207 m²
蔵書 21,235冊 雑誌61誌 新聞1紙
CD183 VHS727 カセット58
開館 月～金 9:00-18:30
毎月1・2回, 土曜日も開館
休館 土, 日, 祝, 年末年始, 創立記念日
特長 ○幼児教育学科単科の図書館のため,
関連の専門資料・絵本を多く所蔵
○資料はNDCではなく授業別に配架
○毎月1・2回, 絵本コーナー開放と学
生によるおはなし会, 卒業生のため
の土曜開館日を実施。近隣に住む親
子連れも図書館を利用

HP [http://www.maytalk.net/tandai/
tosyo/index.htm](http://www.maytalk.net/tandai/tosyo/index.htm)

加盟館案内

東京歯科大学図書館

TEL 043-270-3687 FAX 043-270-3578
所在 〒261-8502 美浜区真砂1-2-2
(千葉海浜交通バス東京歯科大学正門前
から徒歩3分)
開設 1906年4月8日開館
面積 1,960 m²
蔵書 194,873冊 雑誌3,746誌 新聞20紙
CD 1 VTR 270 カセット 16
開館 平日9:00-20:00 土曜9:00-13:00
休館 日曜日, 国民の祝日, 第2土曜日, 本
学創立記念日(2月12日), 年末年始
特長 歯学分野を中心に図書・雑誌を所蔵

HP <http://www.tdc.ac.jp/lib/>

東京情報大学 情報サービスセンター

TEL 043-236-4617 FAX 043-236-2662
所在 〒265-8501 若葉区谷当町1200-2
(千葉駅からバス40分「情報大正門」下車)
開設 1988年4月本館棟に開館, 供用開始
平成8年8月総合情報センター棟竣工
面積 4,355 m² (延床面積)
蔵書 約10万冊, 雑誌タイトル約1,500種,
ビデオテープ約1,700本 など
開館 月～金9:15-20:00
(夏休み・春休み期間中は短縮あり)
休館 土・日曜日, 祝日, 大学の休業日
特長 ○無線LANを備えたネットワーク環境
○自主制作映像作品をVODで配信
○研究紀要・OPACをWeb上で配信
○BDS, 館内監視システム等の設置

HP <http://www.tuis.ac.jp>

メディア教育開発センター

TEL 043-298-3163 FAX 043-298-3479
所在 〒260-0014 美浜区若葉2-1-2
(JR総武線幕張駅, 京葉線海浜幕張駅
から徒歩15分)
開設 1985年4月開館, 供用開始
面積 596 m²
蔵書 54,537冊, 雑誌661誌, VTR12,061本,
16ミリ3,880本
開館 月～金9:00-17:00
休館 土, 日, 祝日, 休日, 年末年始
特長 教育・情報に関連する図書資料を中心
に所蔵。

HP <http://www.nime.ac.jp>

放送大学附属図書館

TEL 043-298-4302 FAX 043-298-4382
所在 〒261-8586 美浜区若葉2-11
(JR幕張駅・海浜幕張駅, 京成線京成幕張
駅から徒歩15分)
開設 1983年4月設置
面積 5,727 m²
蔵書 247,776冊 雑誌1,403誌 CD・LD267
VTR14,079 ネット827 MF3,644 CD-ROM140
開館 月～金9:00-17:45,
土・日・祝9:00-20:00
休館 1月・7月を除く第4月曜日, 年末年
始, 7月1日
試験期間(学外者利用不可)
特長 ○放送大学放送教材・印刷教材
○BBCビデオコレクション
○車椅子対応閲覧席
○美術書コーナー
○展示コーナー
HP <http://www.u-air.ac.jp/hp/>

加盟館案内

千葉県立中央図書館

TEL 043-222-0116 FAX 043-225-8355
所在 〒260-8660 中央区市場町 11-1
(JR 本千葉駅から徒歩 7 分)
開設 1924 年 3 月開館 (1971 年 6 月現施設)
面積 6,171 m²
蔵書 873,628 冊 雑誌 3,081 誌 新聞 101 紙
マイク 12,468 CD-ROM 158
開館 一般資料室 火～金 9:00-19:00
土・日・祝・休 9:00-17:00
千葉県資料室・新聞雑誌室・児童資料室
9:00-17:00
休館 月 (ただし、祝日・休日にあたる場合は
その翌日) 第 3 金 (ただし、祝日・休日
にあたる場合はその前日) 年末年始 (12
月 28 日 - 1 月 4 日)
特別整理期間 春・秋 各 10 日以内
特長 ○ 横断検索 (9 市 3 町 31 館)
○ 資料の永久保存
HP <http://www.library.pref.chiba.jp>

日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館

TEL 043-299-9706 FAX 043-299-9734
所在 〒261-8545 美浜区若葉 3-2-2
(JR 京葉線海浜幕張駅から徒歩 10 分)
開設 1999 年 1 月 2 日新館開館, 供用開始
(当初開館は昭和 35 年 7 月 1 日)
面積 8,175 m² (4 階建)
蔵書 529,243 冊 雑誌 3,299 誌 新聞 296 紙
地図 52,596 MF122,227
開館 月～金・第 1,3 土 10:00-17:30
休館 第 2,4,5 土・日・祝・月最終日・年末
年始
特長 ○ 開発途上地域の経済・政治・社会等に
関する文献を所蔵する専門図書館
○ 書架開架式 (4 階の一部除く)
○ インターネットでの蔵書検索 (OPAC)
○ 個人への館外貸出不可
○ 複写サービス可
○ BDS 設置 (手荷物持込み不可)
HP <http://www.opac.ide.go.jp>

植草学園短期大学図書館

TEL 043-233-9322 FAX 043-233-9322
所在 〒264-0007 若葉区小倉町 1639-3
(モノレール千城台北駅より徒歩 10 分)
開設 1999 年 4 月 1 日開館
面積 252 m²
蔵書 12,962 冊 雑誌 77 誌 新聞 8 誌
VTR 300 CD 89 カセット 16
開館 月～土 9:00-18:30
土 9:00-13:00
(春期・夏期・冬期の休業期間中)
月～土 9:00-17:00
土 9:00-12:00
休館 日曜日及び国民の祝日
本学園創立記念日 (11 月 13 日)
春期・夏期・冬期休業中の一定期間
館内整理日, 年末年始
特長 障害児教育・介護等福祉関連資料所蔵

千葉市生涯学習センター調査・資料室

TEL 043-207-5816 FAX 043-207-5817
所在 〒260-0045 中央区弁天 3-7-7
(JR 千葉駅東口または北口から徒歩 8
分)
開設 2001 年 4 月 1 日開室
面積 183 m²
蔵書 5,532 冊 雑誌 82 誌 新聞 27 紙
開館 9:30-17:00
休館 月 (月が国民の祝日にあたるときはそ
の翌日), 年末年始 (12 月 29 日～1 月 3
日)
特長 ○ 生涯学習に関連した専門情報を収
集・整理して閲覧に供する専門資料
室
○ BDS 設置
HP [http://www.manabi.city.chiba.jp/
gakushu_ce/](http://www.manabi.city.chiba.jp/gakushu_ce/)

加盟館案内

(独) 高齢・障害者雇用支援機構	
障害者職業総合センター図書情報閲覧室	
TEL 043(297)9053 FAX 043(297)9059	
所在 〒261-0014 美浜区若葉 3-1-3 (JR 海浜幕張駅から徒歩 15 分)	
開設 1990 年 3 月開設, 供用使用	
面積 473.6 m ²	
蔵書 26,600 冊, 点字 450 冊, 雑誌 504 誌, 新聞 7 紙, CD-ROM 100, VTR 770	
開館 月～金 9:15-17:00	
休館 土・日曜日, 年末年始, 蔵書点検	
特長 職業リハビリテーションに関する 国内唯一の専門図書館	
HP http://www.nivr.jeed.or.jp/ booklibrary.html	

役員一覧 (平成 15 年度)

役職	館名	氏名	備考
理事	淑徳大学附属図書館	浅岡 清明	会長
理事	日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館	橋本 眞治 4~9月 重城 忠純 10~3月	副会長 副会長
理事	財団法人海外職業訓練協会OVTA図書館	巻木 松男	
理事	敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター	安岡貴美代	
理事	千葉大学附属図書館	尾城 孝一	
理事	千葉県立中央図書館	伊藤 幸男	
理事	JFEスチール(株)スチール研究所図書・情報室	深津 義子	
理事	放送大学附属図書館	平岡 博	
理事	千葉経済大学総合図書館	古賀 実生	
理事	千葉市みやこ図書館	小島 良一	
監査	東京歯科大学図書館	新井 勉	
監査	千葉明德短期大学図書館	望月 春奈	
機関紙担当館		千葉大学附属図書館 千葉市中央図書館	
事務局 千葉市中央図書館	事務局長 事務局長補佐 事務局員 事務局員 事務局員	狩野 誠 古川 栄 今井 公子 吉沢 安嗣 篠山 紀子	

編集後記

「10年ひと昔」という言葉がありますが、10年もの長い年月、このように自主的でしかも自立した会が続いてきたことは本当に素晴らしいことと自負しております。

今回この10周年記念特別号を編集するに当たり、本協議会設立の経緯等について、当時を知る方々と連絡をとってお話を伺ったり、各種会議、研修会、イベント実施等の記録や機関紙など、古い資料を調べたりする過程で様々な発見がありました。

特に発足前後の活動の様子は、新しい道を切り拓こうとする意気込みと、エネルギーに満ち溢れ、記録として文字に残されていない活動や取り組みもさぞ多かったことであろうと、当時のご苦労がしのばれました。

会や団体などを、発足当初の志や理念を保ちながら、時代や状況に応じて発展させて継続していくことの大変さは誰もが認めるところです。陰になり日向になって支え、推進してきてくださった多くの方々のご理解とご協力に、改めて心から感謝申し上げます。

加盟館の本協議会ご担当者の皆様にも、心からお礼を申し上げます。日常業務に加えての本協議会の事務連絡等、お願いすることばかりが多いのですが、ご協力のおかげで、この『Net Work 通信10周年記念特別号』を無事発行することができました。本当にありがとうございました。

これまで10年、そしてこれから……。本協議会のますますの発展を願ってやみません。

Net Work 通信 10周年記念特別号

2004年3月12日

発行：千葉市図書館情報ネットワーク協議会

事務局：千葉市中央図書館

〒260-0045 千葉市中央区弁天3-7-7

Tel 043-287-3980 Fax 043-287-4074